

1. 件名：泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和2年6月17日(水) 10時00分～10時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：原子力規制部 地震・津波審査部門

内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官

北海道電力株式会社：榎執行役員 他6名

5. 要旨

(1) 北海道電力株式会社から、泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査における、基準津波策定のうち日本海東縁部の津波評価に係る事業者の準備状況について、以下のとおり説明があった。

- ・追加のパラメータスタディを行い、基準津波の試解析を実施した結果、津波水位が高くなる可能性が確認されたため、防潮堤の一部見直しを検討する。
- ・防潮堤の見直しに伴い、津波の再解析を実施するため、本年7月上旬頃に予定していた津波評価結果の説明時期が遅れる。

(2) 原子力規制庁から、防潮堤の見直しを踏まえた解析結果を揃えて説明を行う前に、まずは日本海東縁部の想定波源域及びパラメータスタディの考え方について説明するなどにより、効率的な説明順序となるよう考慮することを求めた。加えて、地盤（敷地の地質・地質構造）についても遅滞なく準備するよう求めた。

(3) 北海道電力株式会社から、地盤（敷地の地質・地質構造）の審査を優先して行うため、地盤（敷地の地質・地質構造）を7月上旬頃、基準津波を7月下旬頃に説明できるよう準備を進める旨の回答があった。

6. 提出資料

- ・泊発電所 基準津波策定のうち日本海東縁部の津波評価について